

# 大田区自立支援協議会 相談支援部会要旨

文責：(金子・障がい者総合サポートセンター一部修正)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 相談支援部会 (第3回)			
(2) 開催日時	平成29年7月12日(水) 9:30~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：神作委員)			
	田中 隆博	岡田 純子	関屋 慶子	中越 祐一
	今崎 牧生	大窪 恒	茂野 俊哉	鈴木 啓太
	小嶋 愛斗	入戸野 祐子	大谷 拓郎	内海 玄宗
	重清 国夫			
	区職員出席者 山下係長 (大森地域福祉課)                      友成係長 (調布地域福祉課) 小川係長 (蒲田地域福祉課)                      松坂主任 (蒲田地域福祉課) 江口係長 (糎谷・羽田地域福祉課)              溝尾係長 (調布地域健康課) 金子係長 (蒲田地域健康課)			
事務局出席者 障がい者総合サポートセンター：関次長、木伏係長、森田、齋藤				
(5)内容・要旨	1、2は省略。 3、連絡・確認事項 4、議題 (1) おおた障がい施策推進プラン進捗状況の確認について 相談支援部会の意見として提出する。 ・ <b>事業9</b> 「成年後見制度利用支援の充実」 <u>「社会貢献型後見人と法人後見を一緒に考えないと難しいと考えられる」と</u> という表現について、議論を行った。→ネットワークをつくり一緒に考え、支えていくことが大事である。下線の文章を直すことになる。 (2) 研修会の開催について 去年は研修の企画はなかったが、今年度は1回開催を検討したい。相談支援部会として今までに取り組めていないこととして、計画相談や相談支援体制の評価のきっかけとなる研修を企画するのはどうか。 講師に他区の支給決定部署の職員を招き、提出される計画相談の良い例と悪い例を事例として講義いただくことを考えている。 →望ましくない事例等を扱うため、バッシングとならないように注意が必要。  5、個別支援会議に向けて 障害者虐待防止について ・ 全国の障害者虐待通報件数として平成27年度の通報は、4500件程度。 通報、届出者の内訳として警察：2割、本人：2割、事業所・施設：2割弱、相談支援専門員：1.5割となっている。 ・ 養護者による障害者虐待の虐待者の性別の内訳は6割が男性。一方、被虐待者の性別の内訳は6割が女性。虐待者の内訳では、父母それぞれ2割強を占			

めている。

- ・ 養護者による障害者虐待の被虐待者の障害種別の内訳では 5 割が知的障害、3 割が精神障害、2 割が身体障害。行動障害のある人がターゲット。
- ・ 区分別では、6 割が身体的虐待、3 割が心理的虐待。
- ・ 障害者虐待の対応の流れについて説明。まず、市町村等の障害者虐待対応窓口（大田区は障がい者総合サポートセンター内障害者虐待通報専用ダイヤル）にて通報、届出を受付→次に対応方針の協議を行う。必要に応じて事実確認、訪問調査→ケース会議の開催という流れ。

#### 6、個別支援会議

グループ別に事例検討。

今回はグループごとの意見出しを行い、次回、抽出された地域課題について検討する。

○第 4 回 自立支援協議会 相談支援部会

日時 9 月 6 日（水） 9 時 30 分から 12 時

場所 さぼーとびあ 5 階多目的室